



シアトル日本酒専門店
saké nomi

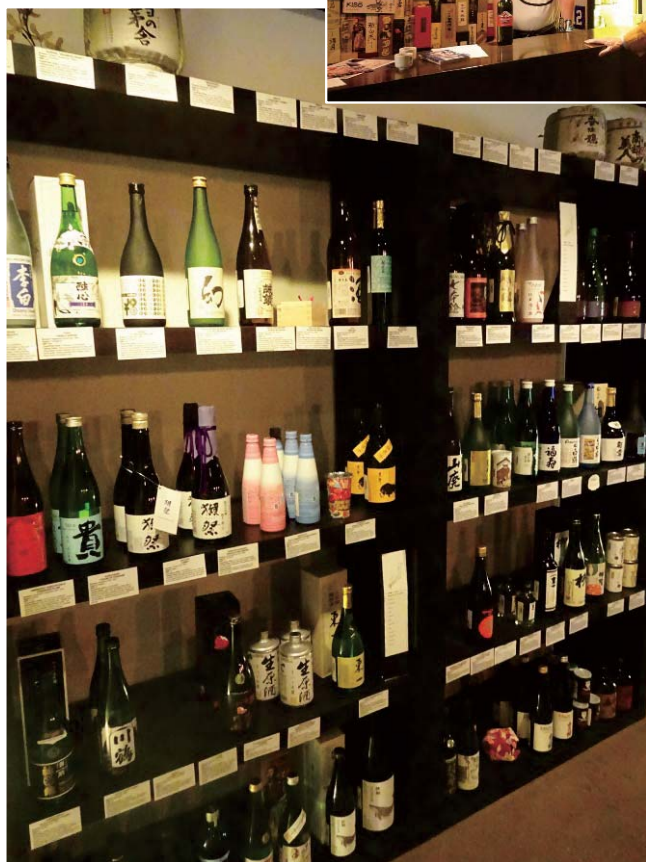
Saké watching in アメリカ西海岸 & バンクーバー の小売店 @2018 by t. kita

あわせて観察：日本の焼酎+日本ウイスキー+日本のクラフトビール



「saké nomi (サケノミ)」 (サケ専門小売店)

- アメリカにはサケ専門の小売店が現在3つある。サンフランシスコの「True Sake」、NYの「Sakaya」、そしてここシアトルの「saké nomi」。(休業していたホノルルの「The Sake Shop」も再開したそうだが未確認)
- 入口にはシンプルな看板。これがないと初めての人は見過ごしてしまう。中に入るとこんな感じ。見事な品揃えに驚く。ご主人はストラウドさん。名刺には「sake enthusiast」とある。奥さんは日本人とのことだが、この日は不在。
- 余談ながら、このお店の名前のサケはsakeではなく、eにアクセントがつくsakéである。ちなみに最近できたTTB (アメリカの酒類タバコ税管理局) のサケの文書 <https://www.ttb.gov/sake/index.shtml> でも、アクセントがついている。





シアトル日本酒専門店 saké nomi

- カウンターがあって利き酒ができる。訪問した週の利き酒メニューがこれ。
- 1「真澄・あらばしり」、2「出羽桜・出羽燦々」、3「白雪・江戸元禄」、4「飛騨のどぶろく」、5「加賀鳶・無濾過」、6「武士道（黄桜・アルミ缶）」。なかなか興味深い（または、よほどサケの事を知った人しかできない）組み合わせ。それぞれ、\$10~15。

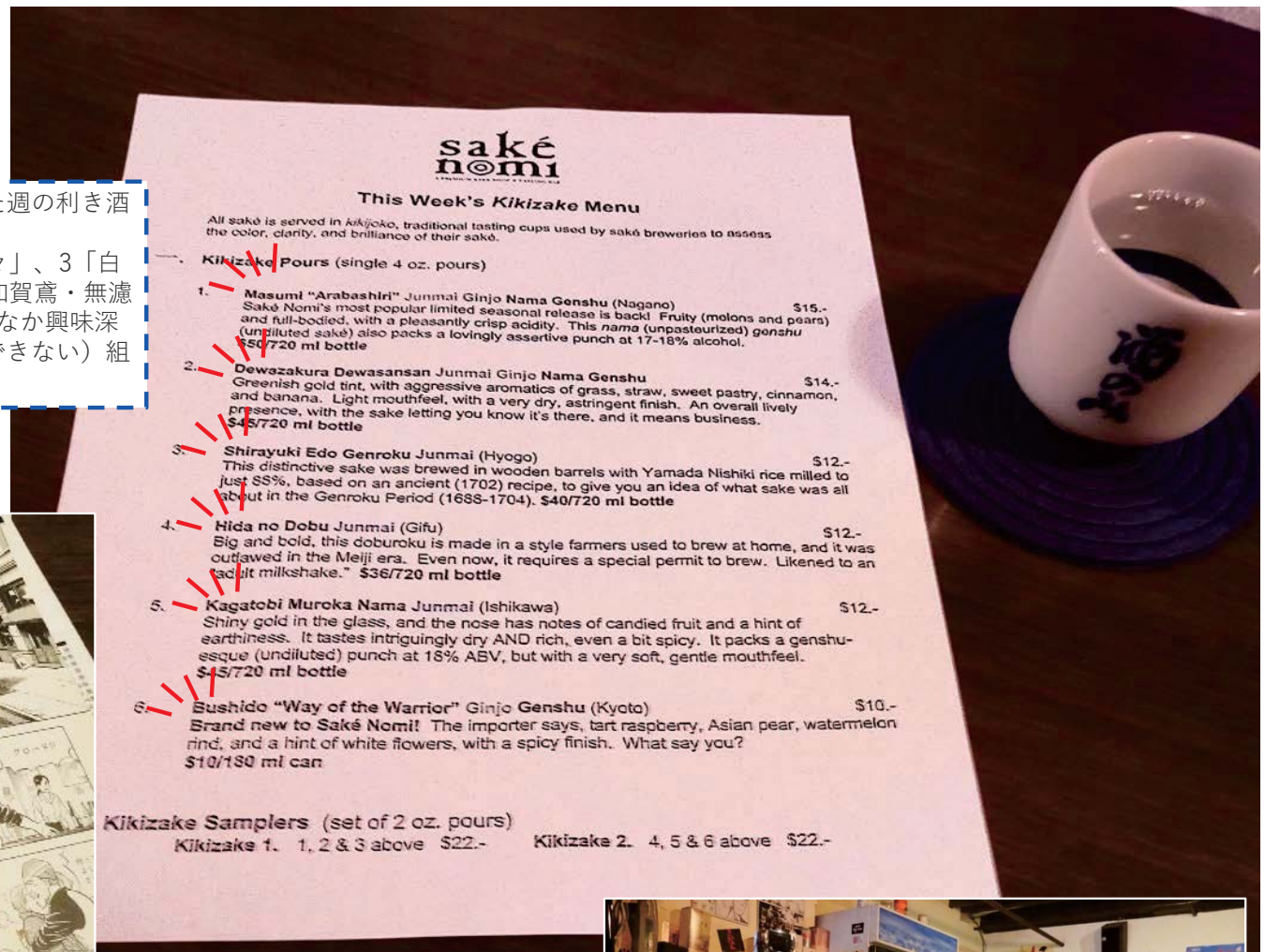
- 「saké nomi」はマンガ「蔵人」に登場。
- 頭に手拭いを巻いたマンガのキャラクターは、ご本人に実に似ている。店の看板や内部も忠実に描かれる。



- これはシアトルのクラフトサケ「タホマ富士」。「確信犯」でラベル「日本酒」と書くほど日本的な造り。タホマ富士については下記参照。
http://www.kitasangyo.com/pdf/archive/sake-info/craft_sake_west_c.pdf

(参考情報) 他の2つのサケ専門店、SFの「True Sake」とNYの「Sakaya」のアーカイブ情報：

http://www.kitasangyo.com/pdf/archive/sake-watching/sake_NY2017.pdf
http://www.kitasangyo.com/pdf/archive/sake-watching/sake_SF_2013.pdf

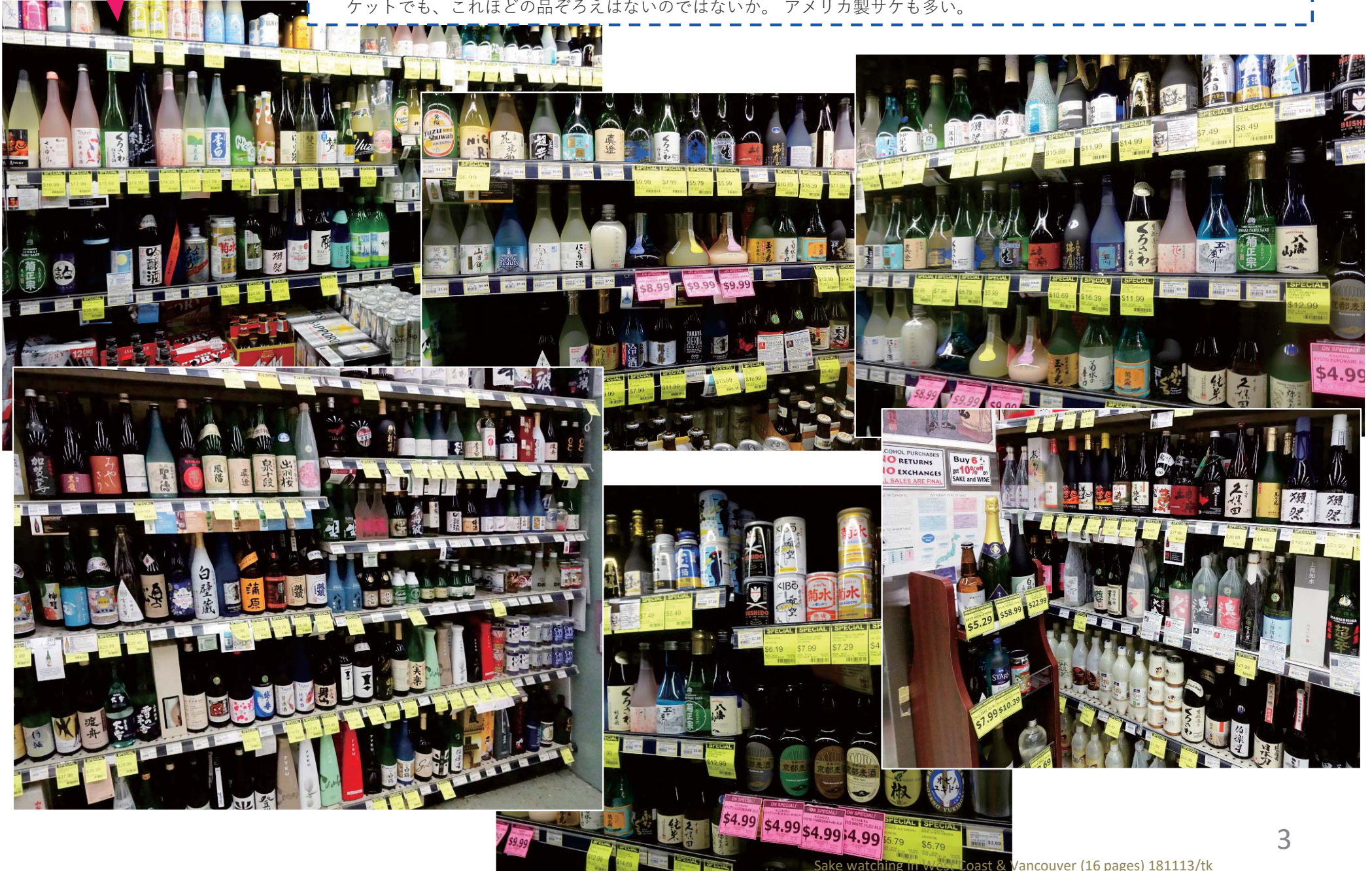




シアトル日本食料店
UWAJIMA YA

「宇和島屋」(日本食料店・スーパーマーケット)

- UWAJIMA YA・宇和島屋は1928年創業、シアトルで知らぬ人がない老舗である。「宇和島屋ビレッジ」という大規模なショッピングモールになっていて、紀伊国屋書店や銀行などもある。
- 食品店舗は巨大。あらゆる日本食材のほか、場所柄、韓国や中国の食材も扱う。
- サケ専門店ではないのだが、**サケ売り場の品ぞろえは写真の通り圧倒的!** 香港やシンガポールの百貨店・スーパーマーケットでも、これほどの品ぞろえはないのではないか。アメリカ製サケも多い。





純米吟醸

紅花

純米

きゅうり

ココナッツ

シアトル日本食材店
UWAJIMA YA

「月桂冠」日米製品の比較観察

- 「鳳麟」は日本製で300ml、\$18.69。
- 「生」はアメリカ製で（375mlではなく）300ml、\$5.99。



カップ酒、日本で見かけない商品事例の観察

- 「Easy Cup Morimoto」は月桂冠。アメリカではとても有名な日本人シェフ森本にちなむ。輸入者はShaw-Ross International。（2016年にSidney Frankから変更）
- 「TANUKI SAKE」は白鹿。輸入者はJFC International。



アルミ缶のサケ観察

- 「ふなぐち菊水」は\$7.29、「同・1リットル缶」は\$34.99。
- 「BUSHIDO」\$7.49（前掲の「saké nomi」参照）、「日本盛ボトル缶」\$8.49など。



- 前ページの「棚売り」のほか、よく出るサケは「箱入りのまま販売」。
- （写真上）「Tyku」5種類は、黒と白がサケで、赤・緑・茶色はフレバード・サケ。それぞれ、**紅花・きゅうり・ココナッツ**。
- （写真下）手前が「獺祭」で\$27.99と\$29.99。奥にはアメリカ製の「月桂冠」「大関」「八重垣」「松竹梅」が並ぶ。これらの価格は次ページ参照。



シアトル日本食料店
UWAJIMA YA

- アメリカ製の1.5Lびんの標準的な価格は\$9 ~ \$10くらい。
- 「松竹梅」「月桂冠」「大関」は同じくらいだが、特売でもっと安く販売されるときもある。にがり酒はやや高め。



- 「MOMO KAWA」はSakéOne社の製品でアメリカ製。375mlで\$8.79。オーガニックのにがり酒。
- 「MOON STONE」もSakéOne社の製品。左からプラム、アジアンピア、ココナッツレモン、容量は375ml。すべてサケである。



- アメリカ製の750mlの標準的な価格は\$7~\$8くらい。写真のように「八重垣」は大手3ブランドより安く販売されているが、大手ブランドも特売でこのくらい(\$5くらい)になるときもある。
- 日本製の紙パック製品も見える。



- 一方、日本の代表的なプレミアム銘柄の価格はこんな具合。
- \$53.99は「磨き三割九分」、\$103.99は「磨き二割三分」。



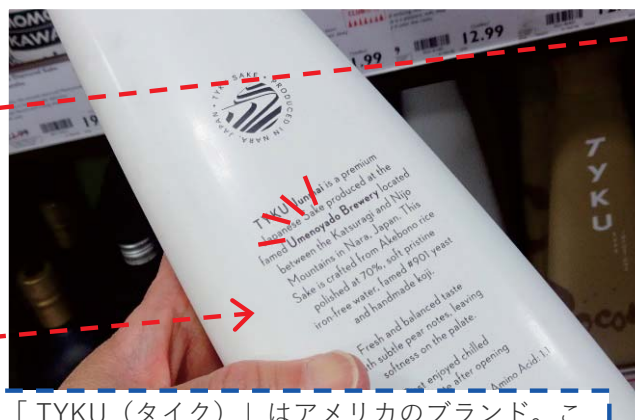
(覚書) シアトルでは、キャピトルヒルの「Trader Joes」(PB品中心の大手食品スーパー)も立ちよったのだが、サケは置いていなかった。この店は、サンフランシスコでは必ずサケを置いているのだが。

「BevMo! (ベヴモ)」 (酒類専門の大手チェーン店)

- BevMo!はCA州やWA州で多数の店舗を展開する、酒類販売大手。西海岸故、たいていの店舗にはサケを置いている。マリーナデルレイ近くのBevMo!で観察。この店では棚一つ分4段がサケに割り当てられていた。
- 販売商品のうち「日本ではなじみがない商品名だけど日本製」、という商品を紹介します。



- 「Saké Moto (酒元)」は「白鶴」の製品。輸入者は SakéOne。\$11.99。
- 因みにPPキャップは当社製でサイズは「30S」だが、一般的な日本仕様と異なって「スプリットなし」。(アメリカはじめ、海外では日本のようなスプリットのあるPPキャップを使う国は少ない。スプリットを危ないと感じる人もいだろう。カリフォルニアの月桂冠・大関・松竹梅・八重垣などで使われているPPキャップもスプリットなし。)



- 「TYKU (タイク)」はアメリカのブランド。この商品は(奈良)「梅乃宿酒造」製であると表記されている。\$16.99、容量は日本式の720ml。
- 左右の黒いボトルと亜麻色というか薄茶色のボトルは「吟醸」と「ココナッツのサケ」。



- 「tozai (東西)」は「黄桜」の製品。輸入者は Vine Connection。これは吟醸酒で\$29.99。



- 「HIRO (ヒロ)」も、アメリカのブランド。(新潟)「大洋酒造」が供給。\$14.99、容量は300ml。





ロサンゼルス日本食料店
NIJIYA MARKET



このページはニジヤの「made in USA」のサケ製品をチェック

- 上の2枚は1.5Lで、価格はこんな感じ。「カリフォルニア生一本」は沼野さんのAmerican Pacific Rimの時代からの銘柄。
- 料理酒「しらきく」も八重垣の製品。\$3.99と安い。



- 白いボトルは米国の宝酒造製。手に持っているのが「にがり・コーヒー」、棚にあるのが「にがり・ライチー」「にがり・ホワイトピーチ」。価格はすべて\$8.99で、容量は375ml。「よく振って」と書かれています。
- るり色のボトルも米国製「松竹梅」。手に持っているのが「吟醸にがり」、棚にあるのが「純米吟醸」と「純米オーガニック」。価格はそれぞれ\$16.99、\$16.99、\$17.99で、容量は（750mlではなく）720ml。拡大写真は、両製品の①のコーシャのマーク。



ロサンジェルス日本食材店
NIJIYA MARKET

このページはニジヤの「made in Japan」のサケ製品

- 裏ラベルチェック。「日本盛・生原酒ボトル缶」の輸入者は「Mutual Trading (共同貿易)」。
\$5.49。棚には「お酒の販売は朝9時から夜9時まで」の注意書きが見える。
- 「ふなぐち菊水アルミ缶」の輸入者も「Mutual Trading (共同貿易)」。
\$6.99。
- 「ワンカップ大関」の輸入者は「JFC International」。
\$2.79。



- 「ZIPANG」は月桂冠のスパークリング清酒、これは「マンゴー」。
- スタンダードのZIPANGが\$6.99、マンゴーは\$7.49。





ロサンゼルス日本食材店
MARUKAI MARKET

「MARUKAI MARKET (マルカイ マーケット)」 (日本食材店・スーパーマーケット)

- マルカイは、カリフォルニア州で12店舗を展開、ニジヤと双璧の日本食材店。2013年からドン・キホーテ傘下であるようだ。
- LAの、リトルトーキョーの店舗でサケの品揃えを観察。前掲のニジヤと至近距離にあるが両方とも繁盛している。



- サケの商品棚はこんな具合。
- ニジヤに比べると、(アメリカ製より)日本製に力を入れているようだ。

「マルカイ」や「ニジヤ」に関する過去のアーカイブ情報：

2015年資料 http://www.kitasangyo.com/pdf/archive/sake-watching/CA_JAPANESE.pdf
 2014年資料 http://www.kitasangyo.com/pdf/archive/sake-watching/LA_SAKE.pdf
 2013年資料 http://www.kitasangyo.com/pdf/archive/sake-watching/sake_SF_2013.pdf



ロサンゼルス日本食材店
MARUKAI MARKET

マルカイの「made in Japan」のサケ銘柄と価格

- 下から時計回りに、八海山、獺祭、菊水、若竹、月桂冠、玉乃光、南部美人、越の寒中梅、黄桜S、日本盛、伝心（一本義）、花春、白雪・碧牙えの澄みきり、七賢。



- 「MANGA」というのは初めて見たブランド。
- ラベルにはLAのCapital Orient社が日本から輸入、と書かれているが、生産者は記載されない。

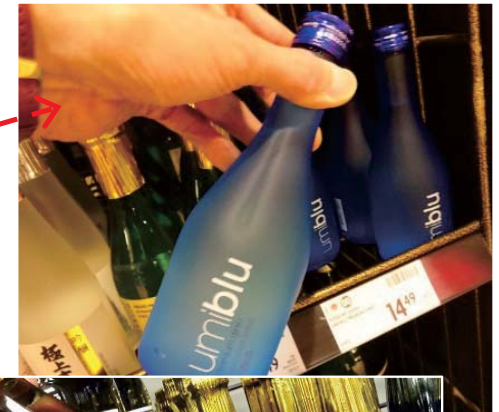




バンクーバー酒類専門店 BCリカーストア

バンクーバーの「BCリカーストア」(酒類専門店)

- カナダでは、酒類販売は州政府の管轄。BCとは、ブリティッシュコロンビア州の略。価格は統一価格だが、バーゲンなどもある。
- バンクーバーは大都市なので、いくつもBCリカーストアがある。これは、ホテル近くの1軒。サケ売り場はこんな具合。いくつかの銘柄をクローズアップで紹介。左上から時計回りに「仙禽」「SHISUI(塩川酒造)」「COWBOY(塩川酒造)」「umiblu(吉乃川)」「YOSHI(吉乃川)」「瑞鷹」。拡大すれば価格も見えます。



- アメリカの「月桂冠」「松竹梅」「Tyku」「Momokawa」もある。国旗マークで日本製、アメリカ製がわかるようになっている。
- 地元バンクーバーのサケ「OSAKE(Artisan Sake)」や「Yu(YK3 Producer)」はなかったが、おいている店舗もある。BCリカーに置いてもらう取引条件はかなり厳しいようだ。

(参考) カナダ・オンタリオ州の酒類販売店のアーカイブ情報：
http://www.kitasangyo.com/pdf/archive/sake-watching/sake_Toronto2017.pdf



ロサンゼルス日本食材店
MARUKAI MARKET

あわせて観察：Japanese 焼酎 watching in アメリカ西海岸 & バンクーバーの小売店

マルカイで、焼酎銘柄と価格のチェック

- 右から時計回りに、霧島、五代、白波、銀座のすずめ（八鹿酒造）。
- これらはすべてSoju表記、アルコール度数を日本標準の25度から1度落として24度として販売。容量は、アメリカの蒸留酒のルールに合わせすべて750mlである。



- 「いちこ」だけは、日本と同じ度数で販売。25度は「Shochu」と表記、20度のものは「Soju」と表記。レストランではShochuとSojuは扱いルールが違うが、店頭での価格差はご覧のとおり\$2。思ったより差がない。
- 左下の拡大写真は、Soju表記のほう。「清凛」という名前。



バンクーバー 酒類専門店
BCリカーストア

バンクーバーのBCリカーストアで焼酎のチェック

- カナダはアメリカと違ってSoju表記はない。
- カナダで最も売れる焼酎の一つが「月のあかり」。表ラベルに「Japanese Shochu」と記載されているがベトナム製（田中酒造）。





ロサンゼルス日本食材店
MARUKAI MARKET

あわせて観察：Japanese Whisky watching in アメリカ西海岸 & バンクーバーの小売店

マルカイの日本ウイスキーの棚で、サントリー・ニッカ以外のブランドを観察

- サントリー・ニッカより、その他のブランドの棚取りが多い！
- 蒸留酒はこのようにキャップにタグやカバーがつけられるのがアメリカの通例。醸造酒（サケなど）に比べて管理が厳重。



(グループ1) モルトのウイスキー

- 左から「倉吉」「Ichiro's Malt」「海洋・KAIYO」「戸河内」「あかし」。全体写真に「岩井」（本坊酒造）も見える。
- 「KAIYO」は日本ではなじみのない商品。ネットでは大阪の会社だが、ラベルには香港製と記載される。



(グループ2) 米（こめ）原料=日本や英国ではウイスキーではないが、アメリカの法律ではウイスキー

- 左から「KIKORI」「Fukano Distillery Whisky」「大石」「八女」。価格は、ご覧の通り高い設定。
- すべて、九州の米焼酎をつくるメーカーの製品。



シアトル日本食材店
UWAJIMA YA

あわせて観察：Japanese Whisky watching in アメリカ西海岸 & バンクーバーの小売店

宇和島屋の日本ウイスキー（と焼酎）の棚を観察

- こちらは蒸留酒はガラスのショーケースの中で管理。
- 上の棚：サントリー、ニッカのほか「駒ヶ岳」（本坊酒造）と「山」。
- 下の棚には「海洋」「あかし」「大石」。サントリー「季（Toki）」は、アメリカ専用モデル。



- 「山・YAMA」は、シアトルの対岸の島、ベインブリッジ島で造られるアメリカ製のウイスキーで、日本製ではない。かつてこの島にあった日本人移民の村「山村」にちなんだ名前。
- 日本の「ミズナラ」の樽で熟成される。価格は、\$799.99のほか、アルコールTAXその他がかかって\$966.82 (!) となる。



- 下の棚には「海洋」「あかし」「大石」。サントリー「季（Toki）」は、アメリカ専用モデル。

(参考) 「海洋・KAIYO」と同じく日本ではなじみのない日本ウイスキーの事例。
「神息・KAMIKI」は、イタリアで売っている日本ウイスキー。ネット情報によれば大阪の「Yoshino Spirits」という会社の製品。
「先生・Sennsei」は、アメリカで売っている日本ウイスキー。ネット情報によれば山梨で製造、ミズナラの樽でエージングしたもの。





ロサンジェルス酒類専門店
BevMo!



あわせて観察 : Japanese Whisky watching in アメリカ西海岸 & バンクーバーの小売店

BevMo!の日本ウイスキーの棚を観察

- こちらもウイスキーはガラスのショーケースの中。
- サントリー、ニッカ、「岩井」（本坊酒造）のほか、「KIKORI」がある。



バンクーバー酒類専門店
BCリカーストア



国が変わってカナダのバンクーバーの日本ウイスキーの棚を観察

- アメリカと違ってウイスキーも棚に並べて売られる。キャップにタグもない。
- ご覧のように「サントリー」、「ニッカ」、「岩井」（本坊酒造）で、アメリカのように多くのブランドはない。米（こめ）製のウイスキーも、当然ない。



ロサンゼルス日本食材店
MARUKAI MARKET

あわせて観察：Japanese クラフトビール watching in アメリカ西海岸 & バンクーバーの小売店

マルカイの日本のクラフトビールの部分を観察

- 15種類以上のメーカー、20種類以上のブランドが並ぶ。
- オリオンビールもクラフトの棚に。



- 今年の酒税法改正で、日本でもビールとして認められた、追加原料入りの製品。
- 左上から時計回りに、「鯉節」の「ヤッホー・UMAMI IPA」、「赤味噌」の「金しゃち・名古屋赤味噌ラガー」、「ゆず」の「ヤッホー・好みなんて聞いてないぜ」、「山椒」の「Sansho Ale岩手蔵ビール」。



- こちらは、追加原料なし、一般的なビール範疇の製品。
- 左から、「百万石」、「エチゴビール」（びんと缶）、「京都麦酒」。



(page16/16-end)